

地域間幹線系統取組シート（整理）

	系統名	取組内容
静岡市	三保草薙線	<ul style="list-style-type: none"> 事業者の利用促進、増収策等を実施する際の、バス利用者への周知・広報活動等を支援する。 （市内転入者へのバス路線図の配付、市窓口へのバス路線図の配架、超低床ノンステップバス導入への補助等） 静岡市バス交通計画に基づき、効率的・効果的なバス路線網再編に向けて、事業者と連携し取組を支援していく。
	興津線	<ul style="list-style-type: none"> 事業者の利用促進、増収策等を実施する際の、バス利用者への周知・広報活動等を支援する。 静岡市バス交通計画に基づき、効率的・効果的なバス路線網再編に向けて、事業者と連携し取組を支援していく。
浜松市	秋葉線 （秋葉バス）	<p>地域間幹線系統は、浜松市総合交通計画において基幹的な公共交通として位置づけられており、交通事業者が主体的に運行する状況で、利用促進等の取り組みを行い、地域・交通事業者・行政が一本となって路線の維持確保に努める。</p> <p>また、遠州鉄道北遠本線、遠州鉄道秋葉線、秋葉バス秋葉線については天竜区の骨格をなす路線であり、他に代替交通手段が無いことから、路線の存続が必要であり、国・県の補助金に加え、市が補助金を交付することで路線を維持していきながら、必要に応じて改善を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 運行継続のため、事業者に対して補助金を交付 （平成29年度市予算額：96,564千円） 新たな利用者を掘り起こすため、C&R駐輪場整備に対して補助金を交付 （平成29年度市予算額：9,400千円） 利用促進のための啓発イベントに対して補助金を交付 （平成29年度市予算額：500千円） 障害者にバス券等を交付（7,000円／年） （平成29年度市予算額：186,460千円（*事業総額のうち、地域バス乗車券は130千円程度見込） 浜松市地域公共交通会議での協議 （平成30年1月12日平成29年度第2回浜松市地域公共交通会議） その他の取り組み <ul style="list-style-type: none"> 転入者MM：転入者に対して路線図、啓発パンフ等を配布 地域MM：地域交通検討会、老人クラブ等の会合で啓発 企業MM：エコ通勤、C&R等の取り組みの協力 職員MM：エコ通勤の日設定（毎月20日）毎月庁内広報誌の発行 学校MM：事業者主催のバス教室開催（7校、460人） 幹線路線への乗り継ぎを考慮した地域バス運行ダイヤ編成 大河ドラマ関連施設への来場の際に公共交通を利用してもらうようチラシに記載
	大久保線	
	伊佐見線	
	浜名線	
	笠井高台線	
	浜北医大 三方原聖隷線	
	渋川線	
	中ノ町磐田線	
	北遠本線	
	秋葉線 （遠州鉄道）	
	磐田天竜線	
	掛塚さなる台線	
	内野台線	
	引佐線	
萩丘都田線		
大塚ひとみヶ丘線		
気賀三ヶ日線		

沼津市	<ul style="list-style-type: none"> ・原線 ・沼津高専線 ・船津線 ・戸田線 	<p>平成30年2月6日に開催した沼津市公共交通活性化対策協議会において、事業評価及び今後の取組について協議、検討した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バス乗り方教室の開催 ・地元との意見交換会等による利用促進 ・本路線を含めた市内全域バス路線図をバス協会と作成、公共施設や観光協会等に配布 ・本路線を含めた事業者作成のチラシ、時刻表を公共施設等に配布 ・市ホームページへの市内全域路線図掲載 ・市ホームページから運行事業者ホームページへのリンク <p>※事業者からも経費削減の他、時刻表検索サービスや高齢者割引定期券等の取組の報告を受けた。引き続き事業者と連携して利用促進策に取り組んでいく。</p>
熱海市		
三島市	<ul style="list-style-type: none"> 御殿場線 (富士急行) (富士急バス) 駿河平線 (富士急バス) 須山線 (富士急バス) 御長屋線 (富士急バス) 桜堤線 (富士急バス) 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者へのバス等助成券の交付や70歳以上の運転免許証自主返納者へのバス等助成券の交付。 ・時刻表を市内公共施設へ配布 ・高齢者対象バス乗り方教室の開催に努める。
富士宮市	<ul style="list-style-type: none"> 富士宮駅～イオン・星山台～蒲原病院線 柚野線 	<p>本路線は富士宮駅～イオン～星山台～富士市松野を經由し蒲原病院までの長大な路線である。</p> <p>収支率及び乗車人員は目標を下回っているが、新たにICカードシステム「PASMO」の導入や高齢者定期券の発行などのサービス実施により、利便性の向上と利用者の増加に努めている。</p> <p>朝夕の通勤・通学及び日中の買い物・通院の利用が多く重要な路線であるため、国庫補助後の欠損額を市が補助することで、路線を維持していく。</p> <p>本路線は、富士宮駅～柚野支所～上柚野までの富士宮市域（旧芝川町域含む）の南北を縦断する路線である。広域トリップ状況が高く、地域間幹線系統としての役割を十分に果たしている。赤字路線であり平成28年度は減便による計画変更を行っているが、収支率の評価点は18点と高く、地域としての必要性は十分に感じる。また、キロ当たり経費が低くなり、評価点も昨年の3点から6点に上がっていることから企業努力も感じられる。</p> <p>なお、本路線は過去に廃止計画が浮上し、交通事業者と市が地域説明会を行い、地域住民に対し利用促進のお願いをしている。今年度においても朝夕の通学利用や買い物・通院の利用が多いため、国庫補助後の欠損額を市が補助することで、路線を維持していく。</p>

富士宮市	曾比奈線	<p>本路線は、西富士宮駅～赤坂～曾比奈までの路線で、富士宮東高校及び富士特別支援学校への通学や富士脳研病院・新富士病院の利用者が多い。</p> <p>収支率及び乗車人員ともに目標値を上回っており、また、キロ当たり経費が昨年比去年に比べて低くなっていることから、全体的にも評価は高くA評価となっている。</p> <p>潜在的に多くの利用者が見込めるため、事業者の努力により更なる収支改善を図っていただきたい。</p>
	大淵線	<p>本路線は、富士宮駅～中野～吉原中央駅までの路線で、富士特別支援学校への通学があり、通勤、通学の利用者が多い。</p> <p>収支率は目標値を上回り、乗車人員は目標値を若干下回っているが、ほぼ目標値に近い数値となっており、全体的には評価は高くA評価になっている。</p> <p>潜在的に多くの利用者が見込めるため、事業者の努力により収支改善を図っていただきたい。</p>
	大月線	<p>本路線は、富士宮駅～峰畑～吉原中央駅までの路線で、イオン富士宮店・富士宮東高校への買い物、通学のアクセスとして多くの利用者がいる。収支率・乗車人員ともに目標値を下回ってはいるが、収支率は評価点が18点と高い数値を示している。広域トリップ状況も高く地域間幹線系統としてはなくてはならない路線となっている。全体的に評価も高くA評価になっており、潜在的に多くの利用者が見込めるため、事業者の努力により収支改善を図っていただきたい。</p>
伊東市		
島田市	島田静波線（島田駅前～静波海岸入口）	<ul style="list-style-type: none"> ・バスの日に関連して、広報紙に路線バスの現状を紹介し、市民に利用を促した。 ・イベントでバス車両の展示やペーパークラフトの配布、運転手の制服を着ての写真撮影を行い、バス利用のPRを行なった。 ・バスマップの中に、「島田静波線」をはじめとした民間路線等の時刻表を掲載し、公共交通相互間の連携による利用促進を図った。 ・国、県からの補助金の一部カット分を、関係する市町（島田市、牧之原市、吉田町）で平成29年度から補填する。
	島田静波線（島田市民病院～静波海岸入口）	
富士市	富士宮駅～イオン・星山台～蒲原病院	<p>キロ当たり経費は国の定める上限単価より抑えられているが、乗車人員が目標を大きく下回り、その結果、収支率も目標に届かなかった。</p> <p>市としては、「ワンデイ・トリップ・チャレンジャー」「バスの日イベント」等のMMの実施や乗継割引券・市内共通回数券の運用、「富士市バスなび」の配布などを行うとともに、国や県の補助後の欠損額を補助することで、路線を維持していきたい。</p>
	興津線（富士駅～蒲原病院～寺尾橋）	<p>乗車人員・収支率ともに目標値を下回り、広域トリップも低い数値となっている。</p> <p>本路線は、現在退出意向の申出がされているが、旧富士市と旧富士川町を跨ぐ唯一のバス路線であり、廃止に伴い公共交通空白地域が生じることからも、代替手段が見つかるまでは維持していただきたい。</p> <p>市としては、「ワンデイ・トリップ・チャレンジャー」「バスの日イベント」等のMMの実施や乗継割引券・市内共通回数券の運用、「富士市バスなび」の配布等を行うとともに、国や県の補助後の欠損額を補助することで、路線を維持していきたい。</p>

富士市	曾比奈線 (西富士宮駅～赤坂～曾比奈)	乗車人員・収支率ともに目標を達成し、広域トリップは比較的高い数値となっているが、収支率は半数程度であるため、さらなる収支改善・利用促進に取り組んでいただきたい。 市としては、「ワンデイ・トリップ・チャレンジャー」「バスの日イベント」等のMMの実施や乗継割引券・市内共通回数券の運用、「富士市バスなび」の配布等を行うとともに、市自主運行路線との接続による相乗効果を図ることで、路線を維持していきたい。
	大淵線 (吉原中央駅～中野～富士宮駅)	乗車人員・収支率ともに目標を達成し、広域トリップも比較的高い数値となっている。収支率は、他路線と比べもう少しで利益が生じる水準であるため、路線の黒字化を目指し、収支改善・利用促進に取り組んでいただきたい。 市としては、「ワンデイ・トリップ・チャレンジャー」「バスの日イベント」等のMMの実施や乗継割引券・市内共通回数券の運用、「富士市バスなび」の配布等を行うとともに、市自主運行路線との接続による相乗効果を図ることで、路線を維持していきたい。
	船津線 (富士駅～吉原中央駅・市立病院～沼津)	広域トリップ率が著しく低いことから、市を跨ぐような長距離移動のニーズが少ない地域を走っている路線と推察されるが、一方で、乗車人員は他路線と比べても多い路線であることから、より詳細な分析を行う必要があると考える。 市としては、「ワンデイ・トリップ・チャレンジャー」「バスの日イベント」等のMMの実施や乗継割引券・市内共通回数券の運用、「富士市バスなび」の配布等を行うとともに、市自主運行路線との接続による相乗効果を図ることで、路線を維持していきたい。
	大月線 (吉原中央駅～峰畑～富士宮駅)	乗車人員・収支率ともに目標に届かなかったが、広域トリップは他路線と比べても高い数値となっている。収支率は80%弱であるため、さらなる収支改善・利用促進に取り組み、安定した運行ができるようにしていただきたい。 市としては、「ワンデイ・トリップ・チャレンジャー」「バスの日イベント」等のMMの実施や乗継割引券・市内共通回数券の運用、「富士市バスなび」の配布等を行うとともに、市自主運行路線との接続による相乗効果を図ることで、路線を維持していきたい。
	原線 (沼津駅～旧道・原駅入口～東田子の浦駅)	本路線における富士市内のバス停は少なく、また、定時性の保たれる鉄道（JR東海道本線）が平行して走っていることから、地域を跨ぐような長距離移動のニーズがほとんどなく、その結果、広域トリップが著しく低くなっているものと推察される。 市としては、「ワンデイ・トリップ・チャレンジャー」「バスの日イベント」等のMMの実施や乗継割引券・市内共通回数券の運用、「富士市バスなび」の配布等を行うことで、路線を維持していきたい。
磐田市	全系統	当市の公共交通についての情報共有を目的として、地域公共交通会議において路線バス及び一般タクシーの各社担当者から経営状況や利用促進策について説明をする機会を設けた。
	全系統	路線バスの待合・乗継環境向上のための施設整備を実施する路線バス事業者（遠州鉄道株）に対して、その経費の3分の1を補助金として交付した。 (実施箇所) ○バス停上屋の設置 1箇所 遠州鉄道株磐田市立病院福田線 美登里町上バス停 ○電照バス停及びテント式上屋、待合所ポリカ壁の修繕 計4箇所 ※補助額 857千円

磐田市	全系統	<p>遠州鉄道(株)に対し、バス路線維持費補助金を交付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 補助対象（区間） <ul style="list-style-type: none"> ①市単路線で市内を運行する全区間 ②国補路線のうち市内を運行する全区間 補助率 <ul style="list-style-type: none"> ①経常欠損額の1/2 ②経常欠損額から国県補助金及び競合カット額を除いた額の1/2 <p>※補助額 9,733千円</p>
焼津市	五十海大住線	<ul style="list-style-type: none"> 国庫補助減額分について、関係市（藤枝市）とともに負担し、路線維持をする。 市作成のバス路線図に当該路線のバス停を記載。 市ホームページに上記路線図及び運行事業者ホームページへのリンクを設定し、住民への周知を図る。 路線バスを含めた市内バス路線の現状に関する記事を広報紙に掲載し、利用促進を図る。
	焼津岡部線	
	藤枝吉永線	
	藤枝相良線	<ul style="list-style-type: none"> 国庫補助減額分等について、関係市町（藤枝市・牧之原市・吉田町）とともに負担し、路線維持をする。 市作成のバス路線図に当該路線のバス停を記載。 市ホームページに上記路線図及び運行事業者ホームページへのリンクを設定し、住民への周知を図る。 路線バスを含めた市内バス路線の現状に関する記事を広報紙に掲載し、利用促進を図る。
掛川市	秋葉中遠線 （大東支所～ 新横須賀・新岡崎 ～袋井駅前）	<ul style="list-style-type: none"> 75歳以上の運転免許証自主返納者への利用助成券交付 市ホームページから時刻表等バス情報へのリンク 中東遠総合医療センター受診者への復路運賃助成 沿線市町による運行費補助
	秋葉中遠線 （横須賀車庫～ 新岡崎 ～袋井駅前）	
	掛塚さなる台線 （浜松駅～ 掛塚・駒場～ 横須賀車庫）	<ul style="list-style-type: none"> 75歳以上の運転免許証自主返納者への利用助成券交付 市ホームページから時刻表等バス情報へのリンク
	掛川大東浜岡線 （掛川駅前～ 井崎～ 浜岡営業所）	<ul style="list-style-type: none"> 75歳以上の運転免許証自主返納者への利用助成券交付 市ホームページから時刻表等バス情報へのリンク 中東遠総合医療センター受診者への復路運賃助成 沿線市町による運行費補助
	掛川大東浜岡線 （掛川駅前～ 井崎～ 大東支所）	
掛川大東浜岡線 （中東遠総合医療 センター～ 掛川駅前・井崎～ 浜岡営業所）		
藤枝市	藤枝吉永線	<p>平成30年1月に、公有民営方式車両購入費国庫補助金を活用し、大型ノンステップバスを1台導入。 同年2月から同系統での運用を開始予定。</p>

藤枝市	藤枝吉永線・焼津岡部線・五十海大住線	平成30年度において、地域間幹線系統確保維持補助金の平均乗車密度5人未満となった場合、その減額された金額を焼津市との協調により、補てんを行う。
	藤枝相良線	平成30年度において、地域間幹線系統確保維持補助金を充てて、なお収支欠損が生じる場合、焼津市・牧之原市・吉田町との協調により、その欠損額を補てんする。
	藤枝吉永線・焼津岡部線・五十海大住線・藤枝相良線	平成30年3月に、市内全世帯に対し、市内公共交通機関（市自主運行バス・民間路線バス・JR東海在来線）の時刻表を掲載したH30藤枝市バスマップ時刻表を各戸配布する。
御殿場市	御殿場線（御殿場駅～裾野駅入口～三島駅）	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度策定した地域公共交通網形成計画において、広域的幹線として改めて位置付けを行い、公共交通に対する利用者意識の啓発と利用促進について目標と施策の設定を行った。 支線系統等の地域内交通ネットワークの新設・再編等を検討する場合において、幹線系統への乗り継ぎ・連携を考慮して検討を行う。 時刻表配布等の交通事業者の取り組みへの協力や市広報紙やホームページ等の広報媒体の活用、平成29年度に作成する御殿場市地域公共交通マップを活用して公共交通の利用促進、啓発を実施する。 「御殿場市高齢者等タクシー及びバス利用料金助成事業」においてバス乗車及びシルバー定期券購入助成を行うことにより、交通弱者への利用促進、啓発を実施する。
	駿河小山線（御殿場駅～一色～駿河小山駅）	
	十里木線（御殿場駅～須山～十里木）	
	河口湖線（河口湖駅～旭日丘～御殿場駅）	
袋井市	秋葉線	<ul style="list-style-type: none"> ○ホームページに時刻表を掲載。また、乗り換え時間が確認できるよう、JR、民間バス及び自主バス等の時刻表も掲載。 ○運行ダイヤ変更について市内班内回覧実施。 ○運行に対する赤字を沿線市町で補填。（H30.3予定）
	秋葉中遠線（袋井駅前～袋井市民病院～遠州森町）	
	秋葉中遠線（大東支所～横須賀車庫～袋井駅南口）	
	秋葉中遠線（横須賀車庫～新岡崎～袋井駅南口）	
	城之崎線	
掛塚さなる台線	<ul style="list-style-type: none"> ○ホームページに時刻表を掲載。また、乗り換え時間が確認できるよう、JR、民間バス及び自主バス等の時刻表も掲載。 ○運行に対する赤字を沿線市町で補填。（H30.3予定） 	

下田市	石廊崎線	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生の通学定期補助の実施 ・市広報紙に利用促進記事を掲載 ・市内園児を対象にバスの乗り方教室を実施 ・南伊豆・西伊豆地域公共交通会議と連携して交通結節点である伊豆急下田駅の情報案内の強化（動線案内、行き先表示の改善等）（H29年度実施予定）
裾野市	御殿場線 （富士急行） （富士急行バス）	<ul style="list-style-type: none"> ・路線バス時刻表を市内公共施設へ配布。 ・裾野市HPに路線バス時刻表を掲載。 ・裾野駅南北循環線エリア外の高齢者へバス・タクシー利用助成券を交付。 ・幼稚園・保育園児を対象としたバスの乗り方教室を実施。 ・高齢者を対象とした利用促進施策の実施。 ・乗降調査結果から、利用者のニーズ把握に努める。
	十里木線 （富士急行）	
	須山線 （富士急行バス）	
	桜堤線 （富士急行バス）	
湖西市	浜名線	<p>湖西市バス運行評価改善委員会で、民間バス路線として湖西市地域公共交通網形成計画に基づき、昨年度の運行内容の評価を受け、改善に活用している。</p> <p>バスの日イベントで、市と事業者が協力して運行内容(経路・時刻)を説明、啓発品の配布をするなど利用を呼びかけた。</p> <p>市コミュニティバスや自主運行バスとの乗り継ぎに配慮した。</p> <p>その他の市内バス事業者と意見交換を実施した。</p>
伊豆市	中伊豆線 （修善寺駅～地藏堂・貴僧坊～筏場）	<ul style="list-style-type: none"> ・バス利用促進策として、小中学生のバス通学費全額補助、高校生のバス通学費補助事業、高齢者路線バス割引乗車証（いきいきパス）の販売及び購入費の補助、福祉タクシー等（鉄道・バス含む）利用の助成、バス待ち環境整備事業の補助を行っている。 ・時刻表の全戸配布、公共施設で時刻表等配布コーナーを設置。 ・市広報誌において利用促進記事等を掲載。 ・小学校においてバスの乗り方教室を実施。 ・地域住民との意見交換会を実施。 ・結節点である修善寺駅で情報案内の強化を実施。 ・夜間の路線バス運行の要望を受け、21時台の運行を継続。 ・定期的にバス事業者や教育委員会等との会議や打合せ、地域公共交通会議で協議を行っている。

伊豆市	戸田線 (修善寺駅～虹の郷～戸田)	<ul style="list-style-type: none"> ・バス利用促進策として、小中学生のバス通学費全額補助、高校生のバス通学費補助事業、高齢者路線バス割引乗車証(いきいきパス)の販売及び購入費の補助、福祉タクシー等(鉄道・バス含む)利用の助成、バス待ち環境整備事業の補助を行っている。 ・時刻表の全戸配布、公共施設での時刻表等配布コーナーを設置。 ・市広報誌において利用促進記事等を掲載。 ・結節点である修善寺駅で情報案内の強化を行っている。 ・定期的にバス事業者や関連機関(観光協会、高校等)と打合せ、地域公共交通会議で協議を行っている。
御前崎市	菊川浜岡線(菊川駅～菊川市立総合病院～浜岡営業所)	当路線は、通勤者、学生、通院等にとって欠かすことのできない路線であるため、事業者と連携し運行継続・維持を行う。継続維持に当たり、市ホームページや広報紙などを活用し乗車促進を図る。
	掛川大東浜岡線(掛川駅前～井崎～浜岡営業所)	当路線は、通勤者、学生等にとって欠かすことのできない路線であるため、事業者と連携し運行継続・維持を行う。継続維持に当たり、市ホームページや広報紙などを活用し乗車促進を図る。 また、当路線を維持するバス事業者に対し、国庫補助金における乗車密度5未満の補助額減額分及び県補助率が2分の1以下の場合に補助する。
	掛川大東浜岡線(中東遠総合医療センター～掛川駅前・井崎～浜岡営業所)	当路線は、通勤者、学生、通院等にとって欠かすことのできない路線であるため、事業者と連携し運行継続・維持を行う。継続維持に当たり、市ホームページや広報紙などを活用し乗車促進を図る。 また、当路線を維持するバス事業者に対し、国庫補助金における乗車密度5未満の補助額減額分及び県補助率が2分の1以下の場合に補助する。
菊川市	菊川浜岡線 菊川市立病院系統	当路線は、通勤、通学、通院等にとって欠かすことのできない路線であるため、事業者と連携し運行継続・維持を行う。継続維持に当たり、路線図等を配付し乗車促進を図る。
伊豆の国市		
牧之原市	島田静波線(島田駅～榛原総合病院～静波海岸入口)	<p>当路線は、通勤者、学生等にとって欠かすことのできない路線であるため、事業者、関係市町と連携し運行継続・維持を行う。継続維持に当たり、市ホームページや広報紙などを活用し乗車促進を図る。</p> <p>(29年度取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市広報誌によるバス利用のPR(9月号2ページ) ・OD調査時に乗合バス利用のPR ・職員に対するバス路線利用促進 ・高齢者に対するバスの乗り方教室 ・関係市町とともに欠損補助を実施予定(本市負担約65万円)
	島田静波線(島田市民病院～静波海岸入口)	
	藤枝相良線(藤枝駅南口～静波海岸入口～相良営業所)	
東伊豆町 河津町		
南伊豆町	石廊崎線	<ul style="list-style-type: none"> ・バスの利用促進を図るため、各地区ごとのバス時刻表を作成し、年2回町内配布を行っている。 ・町内児童及び生徒の通学定期券費用を町が全額負担(児童4km、生徒6km以上が対象)し、バスの利用促進を図っている。
松崎町 西伊豆町		

函南町 清水町		
長泉町	駿河平線	<p>本路線は40名以上の児童が通学利用をしており、高齢者や児童の唯一の移動手段であり、必要性が高い路線であることを改めて認識してもらい、関係自治会の課題として今後も利用促進策等について考えていく。また、現在のダイヤが利用に結びつかない要因の一つであることも事業者へ提案している。</p> <p>町としても、関係自治会と引き続き協議を行いつつ利用促進策などを考えていく。</p>
	御長屋線	<p>この地域は、町内でも高齢化率が高い地域であり、また、約30名の児童が通学に利用しているため、富士急シティバス(株)にもスクールバスの形態で、朝1便を別枠にて運行している。関係自治会としては行事の際にバスを利用するよう呼びかけを行い利用促進を図っていた。代替交通がないなかでの路線退出は現在の利用者への影響が大きいため困るとの声があり、富士急シティバスには運行継続を要望している。</p> <p>町としても、代替交通が確保できるまでの間は運行継続を要望している。また、代替交通検討にあたり公共交通に対する意識醸成を図りつつ、当該地域に適したものとするため、関係自治会と協議をしていく。</p>
	沼津高専線	<p>当該路線のうち、300mの区間内の2つのバス停が長泉町内である。関係自治会としても短い区間ではあるが、沼津市内の高校への通学利用、沼津方面への生活交通としての利用もあることから、重要な路線であることを認識しており、減便してでも継続してほしいとの意見があった。</p> <p>町としても、関係自治会と利用促進策を引き続き検討しつつ、公共交通への意識醸成を図っていく。また、代替交通も含めた当該地域に適した運行形態等を関係自治会とともに検討していく。</p>
	桜堤線	<p>平成24年より運行を開始した当該路線について、利用者の多くは、三島駅への通勤、通学において利用しているが、新幹線への接続を意識したダイヤの見直しをしてほしいといった継続的な意見があり、バス事業者への提案をしている。また、関係自治会の意見には、これを機にバスを利用するので時刻表などの情報発信をしてほしいとの声もあり既に作成している町独自のバスマップを回覧により配布するなど周知を引き続き行うことで当該路線の認知を高めるとともに、利用促進にも取り組んでいく。</p> <p>町としても、利用者が増加傾向である当該路線は、今後も都市計画道路の区間延長、沿線の開発などから通勤、通学以外の利用も見込める路線であるため、利用促進に取り組んでいく。</p>
小山町	駿河小山線（御殿場駅～一色～駿河小山駅）	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度に策定した小山町地域公共交通網形成計画において、広域的幹線として位置づけている。 支線としてコミュニティバスの運行、当系統との乗継割引を実施。 支線として実証実験運行バスの運行を実施。乗継のためのダイヤ等を調整。 高齢者の利用を促すため、シルバー定期券の購入費助成を実施。 シルバー定期利用促進のため、広報誌への記事掲載。 今後も公共交通会議を中心に、町民・交通事業者・行政が一体となって協働による利用促進を図り、地域交通の活性化に取り組む。 高校生通学利用者の確保に取り組む。
	河口湖線（河口湖駅～旭日丘～御殿場駅）	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度に策定した小山町地域公共交通網形成計画において、広域的幹線として位置づけている。 支線としてコミュニティバスの運行、当系統との乗継割引を実施。 高齢者の利用を促すため、シルバー定期券の購入費助成を実施。 シルバー定期利用促進のため、広報誌への記事の掲載。 地域間幹線と接続する高速バス時刻表の各戸配布の実施。 今後も公共交通会議を中心に、町民・交通事業者・行政が一体となって協働による利用促進を図り、地域交通の活性化に取り組む。 高校生通学利用者の確保に取り組む。

吉田町	島田静波線（島田駅～静波海岸入口）	当路線は、通勤者、学生等にとって欠かすことのできない路線であることから、路線を継続・維持するために事業者と連携し、利便性の向上を図るとともに、当路線に係る欠損分の一部について、関係市町とともに負担し、事業者の負担軽減に努める。
	島田静波線（島田市民病院～島田駅～静波海岸入口）	
	藤枝相良線（藤枝駅～相良営業所）	
川根本町		
森町	秋葉線（袋井駅前～遠州森町～気多）	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度については、運行経費の一部負担を実施予定。 ・来年度については、引き続き、運行経費の一部負担を実施予定であるほか、町広報誌にて利用促進のPRを実施予定。
	秋葉中遠線（袋井駅前～袋井市民病院～遠州森町）	